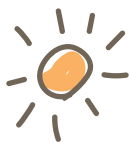


〈連載〉
中川 大介 / 西野 鷹志
庄 司 証
はこだて街なかプロジェクト
米田 哲平 / 吉村 徳泰
中村 ひでのり

気候変動の中で。



TAKE FREE



北海道の技術を世界の海へ —。

東和電機製作所が世界トップシェアを誇る「HAMADE イカ釣機」。北海道の漁師の勘と経験をデジタル化し、マイコン制御によるイカ釣りの自動化を実現しました。現在、その技術は世界へと広がっています。たとえば、お客様の船に同乗しての操作技術の提供はもちろん、多様なニーズに沿った改良・修理など、きめ細かなサポートを行い、大きな信頼を得ています。



HAMADE イカ釣機 EX-2 (国内向けモデル)

株式会社 東和電機製作所

〒040-0077 北海道函館市吉川町 6-29 TEL: 0138-41-4410

<http://www.towa-denki.co.jp/>



はじまりはひとりの漁師の声でした。

昭和38年、弊社は函館ドックの下請工場として、

船舶の配電盤、分電盤を製作する

東和電機製作所として創業いたしました。

間もなく、ある漁師の方から、その当時存在しなかった

手回しのイカ釣機があればいいのに。

という声をお聞きし、それがきっかけとなり

「全自動イカ釣機」の開発がスタートしました。



FROM EDITOR

1992年2月に北海道国際交流センター(HIF)が主催した留学生や若者の北海道体験プログラム「メルティングポット」。当時、JTBで勤務していた自分とともに参加者を引率した大学生がいた。聖心女子大学の平田仁子(きみこ)さんだ。

環境問題に深い関心を持ち、1997年に京都で開かれた国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)にも関わり、その後、環境NPO「気候ネットワーク」の国際ディレクターとして活動。2021年、環境保護に功績のあった草の根の運動家らに贈られる国際賞「ゴールドマン環境賞」を受けた。「地球温暖化問題のノーベル賞」とも言われる名誉ある賞だ。

その平田さんが2022年2月26日、再び函館にやってくる。今度は、HIFが主催する「SDGs・地球温暖化防止」をテーマとするイベントの講師としてだ。30年ぶりの函館での再会は、お互い立場も違うが不思議な縁を感じる。道南地域で地球温暖化防止を考える上で、さらなる意識向上のステップになるに違いない。

(一財)北海道国際交流センター(HIF)
 専務理事 池田 誠

特集

気候変動の中で。

エネルギー収支ゼロの住宅を 渋谷 旭	p5
開花は年々早くなる 宮田宏之	p6
海藻が少なくなっている 柴田梅彦	p7
地熱は純国産の再生可能エネルギー 中治佳史	p8
危機の回避へ 一人ひとりができることを 帰山雅秀	p10
周りから変化を起こしたい 北海道大学・新渡戸カレッジ／北村もあな	p13

人と水と空と森の話
 かの岸を遠く離れて ● 中川大介 p14

昔の子ども、今どきの子ども
 「苦しい」と声を上げよう。 ● 庄司証 p17

はこだて
 たてものがたり ● はこだて街なかプロジェクト p18

連載 米田哲平／吉村徳泰／中村ひでのり p20-21

[ライカはゆく] ● 特別寄稿／第23話
 赤とんぼ p22
 西野鷹志／文・写真

HIF ● インフォメーション INFORMATION p24

本誌設置場所
 FROM EDITOR・奥付 p26

3 新世代をつくる
 つの柱。



運
 輸

Transport

長年の経験と設備を活かして、お客様からお預かりする大切な積み荷を、心を込めてお運びいたします。

土
 木

Construction

解体工事や舗装工事・水道工事など、さまざまな大規模工事に、強い「監理力」を発揮しお客様のご要望にお応えします。

事環
 業境

Environment

これからの地球環境に配慮し、地元のゴミは地元で処理する「ゴミの地産地消」の活動に取り組んでいます。



-SINCE 1977-

株式会社 西武建設運輸

〒041-0803 函館市亀田中野町219番地14
 TEL. 0138-47-2738(代)

<http://www.seibukensetsu.com/>

気候変動の中で。



「気候変動」を実感することが増えた。考えられない豪雨が降り、暴風が吹き、猛暑が襲ってくる。北海道で暖流の魚が捕れ、寒冷地で育たなかったはずの作物が実る。それらをもたらす地球の温暖化は人間の活動が影響していると、国際機関が認めた。危機的な状況を防がねばと、若い世代が立ち上がっている。温暖化を食い止めるための「脱炭素」は、今や世界のテーマだ。道南に住む私たちにも、できることがある。まだ手遅れではないはずだ。



エネルギー収支ゼロの住宅を

渋谷 旭／渋谷建設株式会社代表取締役社長（函館市）

ZEHとは、Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略。高い断熱性能を基本に、空調や給湯などで高性能の省エネ機器を使い、さらに太陽光発電など再生可能エネルギーを生産・利用して、1次エネルギーの年間消費量を正味でおおむねゼロにする住まいのことだ。気候変動の原因となる化石燃料の消費を抑えて環境にやさしく、家計の収支も考えたZEHの魅力を多くの人に伝えているのが、函館市にある渋谷建設の渋谷旭さんだ。

高断熱と高气密

神奈川から戻ってきた時、「道南は会社の規模も小さいし、あ

らゆることがゆっくりすぎていて、時間が止まっているように感じた」という渋谷さん。もっと刺激が欲しいと考えて出会ったのが現在、室蘭工業大学名誉教授であり、一般社団法人新木造住宅技術研究協議会（新住協）代表理事の鎌田紀彦さんだ。高断熱・高气密住宅の第一人者であり、「良質な住宅をより安価に」と現場でも積極的に指導を行っている。

鎌田さんから高断熱・高气密住宅の技術を学び、自身の会社のアドバイスももらっている。「戦後、日本は焼け野原に積極的に住宅を作り、『質より数』で経済を復興してきました。その後、気密性の高い住宅が造られました。一つ間違えると湿

気がたまり、カビが生えるような結露を起こしてしまう家でした。今でこそ住宅の壁に厚さ10センチの断熱材のグラスウールを入れるのは当たり前だが、以前はきちんと入れなかったためグラスウール内に隙間ができ、壁の中に水蒸気が入りこみ結露の原因になった。

「きちんとグラスウールを入れて防湿シートを貼り、また気密性を確保し、通気工法により壁内結露が減少した。それをしっかり教えた大工を社員として雇用しているのがウチの社の強み」と胸を張る。高断熱・高气密住宅でもう一つ大切なのは窓で、2層ないし3層構造のガラスがいい。窓は内外の温度差で結露を起こしやすく、気密性を

しゅや・あきら／北斗市出身。大学卒業後、神奈川県のアウスメーカーで1年間、現場監督を務めた後、実家の建設会社に入社。営業・設計も手掛けながら大工を10年。1996年から現職。



良くして、なおかつ換気をするのが大切だという。

災害時にも電気を

そんな技術に取り組んできて知ったのがZEHだ。ZEHで生産・利用する再生可能エネルギーは太陽光発電が主流だが、風力、コージェネレーション、燃料電池も可能だ。



渋谷建設が施工した間取り可変型ZEH住宅／函館市K邸。

「ZEH住宅で光熱費が安くなるのはもちろんですが、災害時に電気が使えるのが重要と考えています。2018年の胆振東部地震で北海道全体がブラックアウトした時、太陽光で起こした電力を蓄電できるZEH住宅では電気を普通に使えたと聞いています。停電になると太陽光パネルが自動的に補充電源になる仕組みも作られているんです」
もう一つのZEH住宅の特徴

は電気自動車との相性の良さだ。電気自動車を1台持てば大きなポータブル電源になる。家族全員が車を持っている家庭が多い地方都市では、比較的家に居ることの多い母親の車を電気自動車にするのがお勧めだという。

渋谷さんがZEH住宅に関わりながら一番大切にしていることが、住宅に対する評価だ。きちんとした基準で造られ、評価されていることは、会社の信頼や顧客の安心感につながる。B

開花は年々早くなる

宮田宏之／みやた清香園代表取締役（七飯町）

「20年ほど前は11月10日ごろになればリンゴの収穫も終わっていて、枝の剪定など冬の作業に入っていた。今はびっちり11月末まで収穫があつて、気候の変化を感じます」と宮田宏之さん

ELS（ベルス、建築物省エネルギー性能表示制度）という建築物の省エネルギー性能を評価・認定する制度を、渋谷建設では積極的に取り入れている。

家の風通しを良く

創業地の北斗市から函館市に移転したのは11年前。社屋南側には大きな窓があり、道路と家の間に樹木やつる性植物を植えている。夏には植物の葉が強い

日差しを防ぎ、冬には葉の落ちた木々の隙間からやさしい日光が家の中に入る。ちょっとした配慮も住宅のエネルギー節約につながるのだ。

「今は年間7〜8軒のペースでZEH住宅を造っています。エネルギー収支をゼロにできるだけではなく、温かいから仕切りの壁もいらないので、家の中の風通しも、家族の中の風通しもよくなるかもしれませんね」と、渋谷さんは笑顔で語る。

は言う。経営するリンゴ農園は広さ2・6ヘクタール。約20種類、1300本のリンゴを植え、ほかにブドウ、サクランボ、ブルーンを栽培している。年ごとに気候は変化するが、

その変動の幅を超えて温暖化しているように感じることもあるという。果樹栽培は通年で何らかの仕事があり、少しでも気温変化の時期が動くと仕事に影響が出る。例えば冬の訪れが遅く

なり収穫期が長くなれば、パート従業員を長く雇う必要があり、営農計画は変わってくる。「桜前線と同じように、リンゴの花は長野、山形、青森と北上して、七飯では5月中旬に花が咲く。開花は年々早くなる傾向です。ところが、早春に寒冷前線が来る時期は変わっていない。その影響で霜が降りると花

がやられてしまうんです。ここ10年は蜜が入らないまま大きくなってしまふものもあるという。「青森も蜜が入らないと聞きます。一方で寒冷地の旭川や滝川で蜜の入ったリンゴが採れる時もある。農家は皆、何とかいいものを作ろうと育てているんですが」

気温の変化のためか4、5年前には黒い斑点のできる「黒星病」というリンゴの病害が流行した。従来効果があつた薬が効かず、かなり前に使っていた薬で治つたが、今度は「赤星病」

という違う病害が流行し、また別な薬が必要になった。新薬が開発されて問題はないというが、使ううちに薬への耐性を獲得する菌やバクテリアと追いつくことになれば管理の負担は大きくなる。「庭先に柿を植えている人も大豊作だというし、ワイン用のブドウも生育が良くなり、道南で栽培農家が増えている。これも温暖化の影響かもしれないですね。子どもの頃からリンゴと付き合ってきた宮田さんだからこそ、微細な気候の変化を肌身

で感じ、いっそう丁寧な管理を心掛けていようだ。



みやた農園のりんご畑。撮影時は、つしまの収穫が最盛期だった。

を感じ、いっそう丁寧な管理を心掛けていようだ。



みやた・ひろゆき／七飯町生まれ。岩手県農業大学校を卒業後、リンゴ農園を営む実家に戻り、ニュージールランド・ネイピアの果樹農家に4カ月ホームステイして栽培技術を研修。帰国後、農園経営に携わり、現在は七飯町果樹組合長を務める。

海藻が少なくなっている

柴田梅彦／柴田商店代表（函館市）

幼い頃から函館市の志海苔漁港（銭亀地区）で親の仕事を手伝い、海が遊び場であつた柴田梅彦さん。「子どもの頃から比

べると、同じ季節でも海水が温くなってきたのは肌感覚でわかるよ」と語る。2年もの天然昆布が、2年目には海底か

ら抜けて収穫できなくなつた。ワカメも昔はたくさんあつたが、今は磯焼け状態で採れないという。「銭亀の海から海藻が

どんどん少なくなっているのは、海水温が上がっているからかもしれないね」

柴田さん一家はかつて底建網の網元で、サケマス流し網船を持って北洋漁業もやっていた。北洋から日本漁船を締め出した200海里漁業専管水域の設定や、漁業形態の変化に合わせて、コンブのほかタコ、ウニ、アワビを柱とする沿岸漁業にシフトしてきた。

しばた・うめひこ／函館市生まれ。小学校時代から漁師の親の仕事を手伝い、高校卒業後、漁師になる。現在はイクラの加工を自ら手掛け、函館空港などで販売している。



だが今、前浜の変化に危機感を抱く。「タコも捕れなくなってきたし、ウニは夏場の水温が高すぎて死ぬこともある。何より高水温でコンブが減っているためにウニの自身が少なくなっている。割合捕れるのは漁協が稚貝を放流しているアワビだけ」

だ。「自分も含め組合員が60人いる銭亀沢漁協では、全盛期には17軒がイカ釣り船を持っていたが、4、5年前には1軒だけになった」と柴田さん。不漁のおかげで秋サケの価格は高騰し、今年は1匹1万円にもなるという。

は漁業のほかに水産加工も手掛け、自宅裏にイクラの加工場を持つ。「イクラのしょうゆ漬けが欲しいと言われても、サケが取れなければ作れない。海が変わる中でお客の要望に合わせるのも大変だ」。そんな苦勞をしながら、柴田さんは海の変化を感じつつ海と向き合っている。

地熱は純国産の再生可能エネルギー

中治佳史／北海道電力株式会社火力部森地熱グループリーダー

森町濁川地区は1万数千年前の火山活動でできたカルデラ盆地で、古くから温泉湧水やガスが自噴する。地区に入るとナトリウム泉の匂いが立ち込め、温泉を引いている家庭の煙突から湯気が上がる。北海道電力はこの地熱に着目し、1967年から地表調査を開始。地熱発電に利用できる可能性が高いとの手

ごたえを得て、熱水を地中から取り出すための井戸（生産井）と地中へ戻すための井戸（還元井）を掘り、1982年11月に森発電所の運転を始めた。発電出力は2万5000kW。「地熱は、地球温暖化の原因となる化石燃料を使わない純国産の再生可能エネルギーとして注目されています。認可

出力が1000kW以上の電気事業用地熱発電所は日本に14カ所あり、北海道では森発電所が唯一です」と、北電森地熱グループリーダーの中治佳史さんは説明する。

巧みに熱エネルギー利用

火山の地下にあるマグマだま

りに地下水が入ると、高温・高圧の熱水となって地熱貯留層と呼ばれる地層にたまる。それを生産井から取り出し、蒸気と熱水を分離。蒸気でタービンを回し電気を生み出すのが地熱発電の仕組みだ。熱水は還元井から地中に戻し、蒸気が冷えてできた水も地中に戻す。水を循環させながら巧みに熱エネルギーを利用するエコな発電システムだ。使用済みの熱水は農業にも役

立っている。北電は森発電所から地区内の農業用栽培ハウス約100棟に120℃の熱水を送り、農家はこれを河川水と熱交換器により熱交換し、温水をハウス内にパイプで循環させている。これによりハウス内を温めて、11月から翌6月にかけて春トマトとキュウリ、6月から11月にかけては秋トマトという2期作が可能になる。

も温泉施設への配慮として全源泉の湧出量や湧出温度をモニタリングし、個人所有の源泉約30本でも同様の測定をしている。

新発電所運転へ

「2年後に向けて新たな再生可能エネルギー発電所の設置を計画しています」と中治さん。北電とJFEエン지니어リング（株）、東京センチュリー（株）の3社で「森バイナリーパワー合同会社」（本店・札幌市）を設立し、「森バイナリー発電所」として2023年に運転を始めるといふ。バイナリー発電とは、還元井から地中に戻していた熱水の一部を新設する発電機を駆動する媒体系統と熱交換し、蒸気タービンを回す仕組みだ。「森バイナリー発電所の発電出力は2000kW。1000kW以上の地熱発電がもうひとつ増えることとなります」

なかじ・よしふみ／釧路市出身。1996年、北海道電力入社。主に火力部門を担当。本店や知内火力発電所などを経て2021年10月から現職。



1982年11月に運転を開始した森発電所

一方で気になるのは発電に伴う騒音のほか、地中のガスや鉱物などが環境に及ぼす影響だ。北電は森町と公害防止協定を結び、水質や騒音、硫化水素の濃度などを測定している。また環境対策には地域の理解が欠かせないことから、地元農家らと発電所の建設時からコミュニケーションを重ねて信頼関係を築き、農家への熱水を供給。他に

内など市街地から離れた場所にあるが、森発電所は民家に隣接している珍しい例だ。事務所には地球温暖化の現状や影響を伝えるパネルが展示され、コロナ禍前は年間千人ほどの見学者が来ていたという。中治さんは「今後も地元との関係を大切に、濁川地区地域の町内会や農家さんなどと日頃から情報交換をして、地域とともに育つ発電所にしてゆきたい」と語る。

危機の回避へ、一人ひとりができることを

北海道大学名誉教授・帰山雅秀さんに聞く

この8月にあった「はこだて国際科学祭」の催しの一環で、北海道大学新渡戸カレッジの学生がオンラインで函館中部高校の生徒に地球温暖化の危機的な状況を伝え、身近な「食」の分野での行動を変えるよう促す「サイエンス・カフェ」を行った。カフェの企画と指導に当たった帰山雅秀さんに、いま私たちが考えるべきことについて聞いた。

——気候変動は今や世界を動かす最大のキーワードです。日本ではいまだに気候変動や地球温暖化が人間の影響によるものか疑う人もいますが。

帰山 国際連合環境計画と世界気象機関が共同で設立した「気候変動に関する政府間パネル

(IPCC)」が今年8月に公表した第6次評価報告書(AR6)で、それは明らかです。報告書では「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことに疑いの余地はない」と断言しています。そして、世界の平均気温は少なくとも2050年まで上がり続け、産業革命の前と比べた気温上昇は今世紀中に1.5〜2度を超すだろう、と予測しています。

絶滅リスク増大

——なぜ人間の活動が原因と言えるのですか。

帰山 いま、世界の平均気温は100年間に1度の割合で増加しています。過去2000年間、

大きく変動しなかったのに前代未聞の速さです。地球上では寒冷な氷期と温暖な間氷期が10万年サイクルで繰り返され、縄文時代の前期(約7000〜5500年前)には2度ほど温暖化しましたが、それでも1000年で1度の割合です。急激な気温上昇は、石炭や石油といった化石燃料をたくさん使って二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスを出す人間の活動を考慮に入れないと説明が付かないことがシミュレーションで分かっています。大気中のCO₂濃度は縄文前期でも280ppmでしたが、現在は400ppmを越えており、人間活動の影響を疑う余地がありません。

——温暖化で地球上ではどんな



現象が生じているのでしよう。帰山 AR6では、温暖化で極

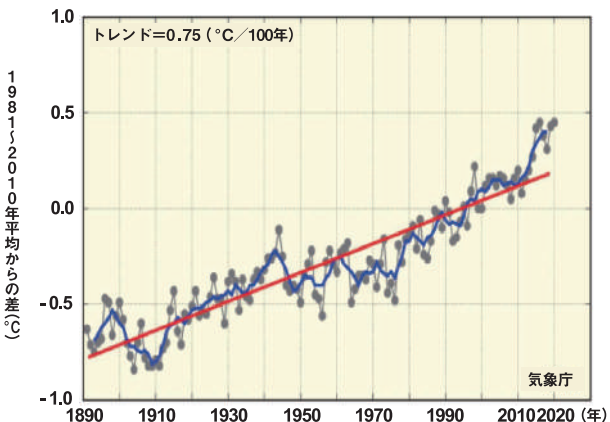
端な高温や海洋熱波、大雨や干ばつの頻度と強度が上がり、北極域の海水や永久凍土(ツンドラ)の縮小を含む「気候システムの变化」が拡大すると予測されています。皆さんも、毎年のよ

うな豪雨や激しい台風、熱波の襲来や山火事の発生を目の当たりにしているでしょう。それら

は生物の絶滅リスクを増大させ、人間の生存の危機に直結します。私が研究しているサケ科

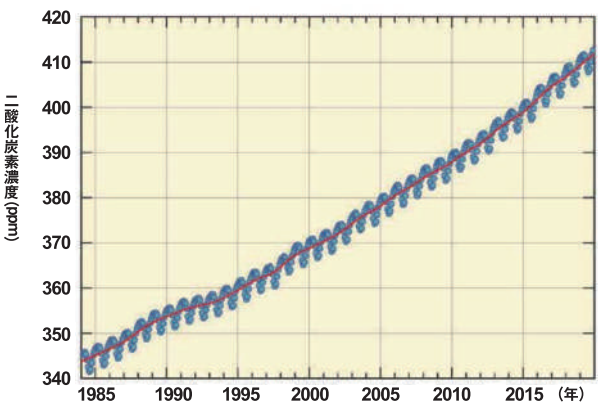
世界の平均気温の経年変化

気象庁のデータから、1981〜2020年の平均気温との差を示す。100年あたり0.75度の割合で上昇している。



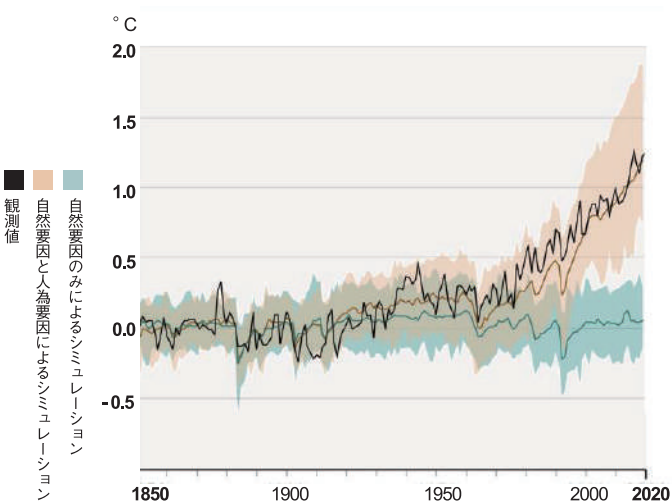
大気中の二酸化炭素の世界平均濃度の経年変化

世界気象機関のデータ(2020年から。温室効果ガスである二酸化炭素の濃度は急激に上がり続けている。



人間活動が地球の表面気温に及ぼす影響

「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第6次評価報告書(AR6)から、自然現象に基づく要因だけでなく、人間活動による人為要因をも考慮して地球の表面気温の推移をシミュレーションすると、観測値黒線とほぼ一致していることがわかる。



魚類にも影響は強く及んでいま

す。

——どのような影響ですか。
帰山 日本産のサケは、生息環境の好転やふ化放流技術の進歩で1970年代から回帰が増えましたが、2000年代半ばから減り始めました。2010年代に入って減り方は激しく、日本海側より太平洋側で顕著です。温暖化で海水温が上がリ、海へ出た幼魚が沿岸にいる期間が短くなり、十分成長できずに沖合へ移動しなければならぬこと、また6〜7月に沖合へ移動する幼魚の生息に適した水温帯（最適水温帯）が北へ移動していることと関係していると考えられます。そのため、北海道や北東北から海へ出た幼魚の生残率が下がった可能性があるのです。今後は環境変動への適応力が高い野生のサケを大事にし、その野生魚の生活史から学び、新たな環境に適応した持続可能な資源管理技術の展開が必

要であると考えられます。

3分の1は「食」

——サイエンス・カフェでは、カレッジ生3人が「守ろう私たちの地球—まずは地球温暖化ストップ」と題して、危機的状況を函館中部高校の生徒に伝えたのですね。

帰山 そう、彼らが焦点を当てたのは「食」です。2016年の世界の温室効果ガス排出量約50ギガトン（ギガトンは10億トン）のうち、3分の1は農漁業や食品輸送など「食」にかかわる排出です。特に影響が大きいのは土地利用です。南米や東南アジアの熱帯林が伐採されて、牛の放牧地やアブラヤシのプランテーションなどに姿を変え、年2・6ギガトンの温室効果ガスが排出されていると推計されています。私たちの日々の食卓のありようが、温暖化に強くかかわっているのです。

——食のどのような部分を見直す必要があるのでしょうか。

帰山 動物性食品は植物性食品に比べて環境負荷が大きい。牛肉は大豆に比べて生産に使う水の量や土地面積が格段に多く、タンパク質の単位量当たりのCO2排出量は30倍にもなるというデータもあります。一方でタンパク質の過剰摂取は肥満を引き起こし、食べる人の健康を損なっています。植物性食品を中心に食生活に転換することで、温室効果ガスの排出を抑制し、併せて健康増進を図ることができます。大量の食料廃棄にブレイキをかけることも重要です。世界では19億人以上が肥満と過体重で悩んでいます。一方で約8億人が飢餓状態にもかかわらず、食料の17%が廃棄されて無駄になり、推計で年1・5ギガトンの温室効果ガスを出しているのです。

——

——日本に暮らす私たちは特にどのようなことを考えるべきでしょうか。
帰山 日本の食料自給率（カロリーベース）は1965年の73%から、2018年には37%まで落ちていきます。残る63%は海外の土地や水を使って生産しているわけで、それらの生産にも運搬にも多くのCO2を排出しています。日本人も脂肪を大量に採る食生活が変わって肥満も多く、また年600万トンのフードロスが生じていると推計されています。「地産地消」を進め、健全な食生活に戻す必要があるのです。

少しづつでも

——現実は何をすれば？
帰山 皆が完全な植物食に切り替えるのは難しくても、少しづつ変えることはできるはず。月に4回ビーフステーキを食べる人が2回に減らせばCO2の排出量を抑制できます。省エネも、自動車の利用を控えることも、

太陽光発電の設備を自宅に取り入れることも有用でしょう。今の体制のなかでどこまで真剣に排出量を減らせるか、一人ひとりが真剣に考えるときです。ただ、個人でできることは限界があり、排出抑制を進める公共政策が必要です。政府の政策をチェックすることも私たちの責任ですね。



【注】
【産業革命】18世紀半ばから19世紀にかけて欧州を起点に進んだ産業と社会の変革。エンジンの発明や化学肥料製造などの技術革新によって石炭や石油の利用が拡大した。
【温室効果ガス】地球の周りにあって、地球で反射され宇宙へ戻る太陽のエネルギーを吸収して気温を上昇させてしまう二酸化炭素(CO2)やメタン(CH4)など。
※サイエンス・カフェのアーカイブ動画は下記サイトで配信されています。
<https://sciencefestival.jp/event/global-climate-change-cafe/>

周りから変化を起こしたい！

北村もあな / 北海道大学・新渡戸カレッジ

8

月にサイエンス・カフェ「守ろう私たちの地球—まずは地球温暖化ストップ」を行った北海道大生3人は、国際的な視野と知識の習得を志す学生たちが集まる同大の「新渡戸カレッジ」に在籍する。その一人、北村もあなさんは水産学部海洋資源科の3年生。名前は出生地ニュージーランドの先住民マオリ族の言葉「海」の意味だという。あこがれの北海道で、大好きな「海」のある町・函館を学びの場を選んだ。

海や地球環境に関心のあった北村さんが、地球温暖化について詳しく知ったのは大学に入ってから。「先生や友人同士で話し、原著にあたってデータを調べて危機的な状況を実感できて、自分も周囲も変化した」。高校生たちにも変化のきっかけを——、サイエンス・カフェでは函館中部高校の生徒たちに温暖化の実態やその原因をデータで示し、質疑応答を行った。

自分たちでできることを考えてもらいた



北村もあなさん

くて、身近な「食」にフォーカスした。質疑応答では「動物性食品と植物性食品のどちらが好きか」と質問を受け、「肉はふつうに好き。食べる量を減らすことで温暖化の抑制につながる」と現実的な対応方法を説明。高校生たちは「温暖化を止めるためにできること」をグループで討論して「食品ロスの削減と野菜の推奨」などについて発表し、北村さんは「身近な問題として考えてくれた」と手ごたえを語る。

「問題は『肉を食べること』ではなく、温暖化ガスの排出量を抑えること。肉に代わるタンパク質の多い食品が生産できれば農家も仕事を失わず、資源をうまく使える社会になる」と北村さん。「おいしくて健康に良い代替タンパク質」の開発へ向け、北大の仲間と起業も考えているという。

気候変動への若い世代の危機感、スウェーデンの活動家グレタ・トゥーンベリさんに触発され各国で高まり、大人の対応の「緩さ」を糾弾する抗議活動も起きている。ただ、北村さんは「批判は、それに対する批判を招く。やさしく発信すればやさしく返ってくる」と話す。「私は大衆に呼びかけるより、家族や周りに変化の必要性を伝えることを大切にしたい。実感してもらえれば変化は広がっていくはずだ」





かの岸を遠く離れて

中川大介／人と水研究会

PROFILE

岩手県生まれ。新聞記者。カヌーや深流での釣り好きが高じて人の暮らしと水とのかわりに興味をもち、仲間と「人と水研究会」をつくって、水辺歩きを続けている。

数ある縄文時代の遺物のなかに、見る者の心を温めるものがある。

「足形付土版」のことだ。函館市の垣ノ島遺跡では縄文早期前半（約9千年前）の墓穴に、副葬品として埋められていた。13センチ×10センチほどの粘土の板に、子どもの足形が押されている。穴にひもを通して吊りさげ、亡き子の形見としたのだらう。

5本の小さな指のくぼみが切れない。実り豊かな森を駆け、草地で空へ両手を伸ばし、堅穴の住まいのなかで笑い転げ、魚を追いかけて浅瀬で転び泣きしゃくったであろう命。つかの間この世界に光を放ち、ぼとりと落

ちる線香花火を思う。

狩猟採集をなりわいとした社会で、子どもの死亡率は高かった。病や事故での夭逝を親たちは覚悟していたらう。それでも今と同じように嘆き悲しみ、その記憶を傍らにとどめおきたいと願ったのだ。土版は、時空を超えて変わらぬ情愛の象徴である。

原初の豊かな社会

とはいえ、狩猟採集社会における子どもの存在は、現代とは異なるものであったかもしれない。原始共同社会は一夫一婦制ではなく、女性はすぐれた遺伝子を得るために共同体内の多く

の男性と交わったとする説があるという。子どもは「夫婦の財産」というより「共同体の財産」であり、「共同父権」社会で地域集団に育てられたという考え方だ。太古の社会構造を知る手がかりは乏しいが、この説が当たっているならば、足形付土版にこもるのは両親のみならず集落全体の思いだったかもしれない。多くの人がびとに囲まれて息を引き取る子どもの姿は、少数の家族のみが立ち会う現代の看取りとは異なる光景だ。

約1万5000年前に始まり、約2400年前に終わる縄文の社会は、果たして現代社会と「地続き」だろうか。

約6千年にわたって人の営み

代の狩猟採集民は子孫の農耕民よりも、飢えたり栄養不良になったりすることが少なく、一般に背が高く健康だったことがわかる」

「その秘密は食物の多様性にあった」「危険に満ちた最初の数年を生き延びた子供たちは、六〇歳まで生きる可能性がたっぷりあり、八〇代まで生きる者さえいた」

植物の実や根や葉、キノコ類、魚や鳥獣の肉と卵、さまざまな昆虫。多種多様な食資源から、生存にじゅうぶんなカロリーを彼らは得た。そうして長期にわたり多数が定住化した「資源豊かな土地」が、北海道・東北の縄文遺跡群の所在地であったらう。のちの農耕社会において農民は小麦や米といった単一の食資源への依存度を高め、凶作は飢饉に直結したが、狩猟採集社会は違っていた。集落の規模も小さく、疫病の影響も限定的だった。

ハラリはこうも言う。

「狩猟採集経済は、農業や工業と

があった垣ノ島遺跡を含む「北海道・東北の縄文遺跡群」は、2021年に世界文化遺産に登録された。縄文社会は「1万年以上も争いなく平和が続いた」と語られる。出土する人骨に争いの痕跡がないことが理由というが、それは人口よりも野生動物の資源量をはるかに多く、狩猟採集の営みのなかで土地や収穫物をめぐって争う必要が乏しかったためではなからうか。

イスラエルの歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリは、世界的ベストセラー「サビエンス全史」（河出書房新社、上下巻、2016年）で、農耕が始まる以前の「原初の豊かな社会」を描き出す。

「化石化した骨格を調べると、古

比べると、より興味深い暮らしを大半の人に提供した」

狩猟中に野獣に襲われ、木の実を採るさいに崖から落ちるなど世界は危険に満ちていたにしても、資源豊かな地域なら食料獲得のための労働時間は限られる。空気の汚れた鉱山や工場で長時間働き、公害や交通事故のリスクにさらされる現代の労働者とは違って、狩猟採集民は「物語」を語り、子どもたちと遊ぶ時間がたっぷりあった、というのだ。

そのような時間のなかで人は自らの内面に目を向け、「現存しないもの」を信じ始めたのだらうか。たとえば夭逝した子どものように、去りし者の「壺」を。

「虚構」を信じる

世界文化遺産の構成遺産の一つ、千歳市のキウス周堤墓群は、落葉広葉樹の森におおわれたゆるやかな丘陵のなかにある。縄



垣ノ島遺跡の墓穴から出土した子どもの足形付土版＝出展：JOMON ARCHIVES（函館市教育委員会所蔵）

文も終わりに近づいた後期後葉（約3200年前）の集団墓。地面を円形に掘り下げ、周囲にドーナツ状に土を盛った区画のなかに複数の墓穴を設けた「周堤墓」が9基集まっている。外径は最大で75メートル。なぜそこまで大きなものを作ったかわかっていない。

ある研究者から、こんな仮説を聞いた。かつてキウスの近くにあった大きな沼には膨大な数のサケが上った。それを捕らえ、加工して交易に利用するために、複数の集落が協力しあう必要が生じた。千歳を含む「石狩低地帯」は古代から交易の盛んな地域で、黒曜石や漆製品など交易で得たと考えられる遺物が出土する。交易の活発化とともに協力しあう集落は増え、集落を構成する人びとを埋葬する墓も巨大化した。

「命の循環」を信じた縄文人にとって、死とは終わりではなく「次の生への入り口」であり、墓

所は「あの世のイエ」だという。巨大な周堤墓は、そのような価値観を共有する集落の人びとが協力しあい、強力なリーダーの指揮のもとで造ったのか。

ハラリの「サピエンス全史」によれば、ホモ・サピエンスが地球上で繁栄を遂げた理由は「無数の赤の他人と柔軟に協力できること」にある。サピエンスは「虚構」すなわち「架空の事物」を語る「言語」を獲得し、ともに信じる虚構のために協力できるのだという。

「虚構」とは神話であり、宗教であり、帝国であり、貨幣であるとハラリは言う。それはサピエンスに「人生の意味」を与える「物語」であった。神話や宗教を信じる人びとが祭祀を通じて協力の範囲を広げ、農耕が始まると協業はさらに広がった。農耕によって計画的な食料の確保が可能になりサピエンスの生存率は上がったが、土地や水をめぐって争いが生まれ、貧富の

差が拡大し、社会の階層化が加速する。神話を共有する帝国が生まれ、領土を拡張し、一方で貨幣は国境を越えて価値が共有され交易を拡大させていった。

その過程でサピエンスは自然環境をそこない、多くの野生生物を減らした。戦争で同族を殺め、膨大な数の家畜を過酷な環境で飼い、手に余る核物質を生み出し、エネルギー資源を大量消費して気候変動という危機を招いている。70億人を超えるまでに膨れ上がり、資本主義と人間至上主義のもと、バイオテクノロジーやAI（人工知能）などの科学技術を駆使して「人新世」とも呼ばれる時代の「全能の神」であるかのようにふるまうサピエンス。

ハラリは、「サピエンス全史」に続く「ホモ・デウス」（河出書房新社、上下巻、2018年）でこう書いている。「今日私たちは、大規模な火山爆発や小惑星の衝突による致命的な

危険に再びさらされていると恐れる人もいる（中略）私たちは小惑星を恐れる代わりに、自分自身を恐れるべきだ」

航路の先に

サピエンスが乗った舟は、足形付土版を作った人びとが暮らした縄文の岸からはるか遠くへ離れてしまったようだ。どうやら変わらぬものと、変わってしまったものがある。後戻りの可能な地点はとうに過ぎてしまった。

世界文化遺産に登録された縄文遺跡群を、いかに地域振興、観光振興に結び付けるか。巷ではそんな話が喧しい。それを言う前に、遺跡群が伝えるものを見すえようではないか。私たちが過去どうであったか。それを知り、そこから離岸した舟の軌跡を見つめ、航路の先に待ち受ける危機をただしく認識すること。語り継ぐべきことは多くある。

昔の子ども、
今どきの子ども



第二十二話

「苦しい」と声をあげよう。

庄司 証 / 函館圏フリースクールすまいる・代表

先日、2020年度の北海道の公立学校でのいじめ認知件数が前年度に比べて減少した、というニュースを見た。コロナ禍による減少だそうだが、いじめの理由としては「冷やかしかやらかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われたりする」ことが多いのだそう。

「今はそんなことでも『いじめ』になるのか」と感じる方はいないだろうか。もしかしたら、子どもの頃にそんな体験をしたことがあるかもしれない。友達に無視されたり、脅されたり、ブレス技をかけられたり、嫌だったし辛かったけれど、それは「いじめ」というほどひどく

はない、と。

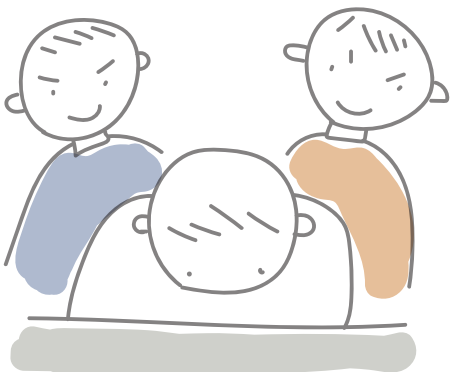
実際に、フリースクールで相談を受けていると、「いじめとまでは言えないんだけど」と、子どもをめぐる出来事について話す保護者は少なくない。クラスや友達に意地悪をされたらしいとか、最近ではネットやゲームでのトラブルも多い。

今は、2011年の大津市で2いじめ自殺事件が契機になって2013年に成立した「いじめ防止対策推進法」がある。そこで、いじめは「他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為…の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義づけられた。

嫌なことをされても、自分で「いじめられてるわけじゃない」と我慢しなくてもいい。どんなことでも「苦しい」と声を上げて良いのだ。そんな風に改めて自分の体験を振り返ってみると、あれは「いじめ」だった、と思うこともあるのではないだろうか。そして、そんな思いを受けている今の子どもを受け止められる社会づくりが求められている。

文科省の調査も、いじめの件数が、2006年から「発生件数」ではなく「認知件数」に変わった。つまり、学校として「わかっていない」ということだ。子どもの声を学校は見逃さない。見て見ぬふりをしない。件数増加の是非は別として、積極的に認知し、解消を図っていかう、という流れになっている。

そんな流れは社会全体に及ぶ。各自自治体で「いじめの防止等のための基本的な方針」が策



定されているが、函館市は2017年に定められ、学校との連携などの地域社会に望む取組が示されている。その中で筆者が注目した箇所は、子どもの心の育ちのために「児童生徒が学校外で活動できる場所や機会を作ること」。

筆者が関わるフリースクールの活動も、ひとりとして子どもの笑顔を見ることがないような社会を目指した、子どもが地域の中で安心して活動できる「居場所」でもありたいと願う。

PROFILE

七飯町出身。北海道教育大学大学院修了。在学中から「チャーキーリスト教学園」の活動に参加し、2012年「函館圏フリースクールすまいる」設立。不登校や若者の居場所支援などを行っている。

はこだて たてものがたり

池ノ上真一／NPO法人はこだて街なかプロジェクト



大正期の隆盛映す／太刀川家洋館（函館市弁天町）

函館市弁天町界隈、かつて埠頭筋と呼ばれた通りに、漆喰塗りの袖壁を左右に従える土蔵造りの重厚な商店建築が建つ。国の重要文化財であるこの「太刀川家住宅店舗」の隣に、寄り添うように佇む洋館がある。函館市の景観形成指定建築物「太刀川家洋館」である。

建設は1915（大正4）年。木造2階建て入母屋（いりもや）瓦葺き、若草色の下見板張りに

擬洋風の応接専用室

よる外壁の仕上げが特徴的だ。破風（はふ）や軒下に施された彫りの深い植物模様、コリント式円柱が支える函館独特の3連アーチ。隆盛を誇った大正期の函館を代表する建築物の一つである。

「うちの建物も函館の和洋折衷建築の一つの様式なんですよ」

と、太刀川家6代目当主の夫人雅子さんは言う。

函館で和洋折衷建築としてよく知られるのは、この連載の第1話で紹介した小森家住宅店舗のように1階が和風、2階が洋風と、和洋の様式が上下に並んだ外観を持つ建築だ。京町家をはじめ本州以西で見られる町家建築の2階の外観が洋風になったもので、太刀川家住宅店舗もこれに属する。

しかし函館には、それ以外にも大型で重厚な町家や洋館が多く存在する。多くは内部に和室を持ち、屋根には瓦をふきながら、外観は洋風を擬して大工が建てた建築物である。それら「擬洋風」と呼ばれる和洋折衷の建物は、豪商らにより建築され、太刀川家洋館もこの中に含まれる。

函館の太刀川家の始祖、2代目太刀川善之助は江戸期に越後国長岡から箱館（現函館）に北前船で渡り定住した。当初は米穀商のち漁業、海産商、回漕、採水と多角化した。その次の代の初代善吉が太刀川家住宅店舗を1901（明治34）年に建設した。

その息子で太刀川家の「中興の祖」とされる2代目善吉は、大正から昭和初期にかけて北海道で最も多くの肩書きを持った実業家として知られ、商談のための応接専用室としてこの洋館を建設した。28歳で函館米穀商同業組合長に就任し、後に北海道新聞社となる函館日日新聞、

北海道銀行となる第百十三銀行、北海道電力や函館市電、函館バスとなる函館水電など数多の企業

の要職に就いた。1934（昭和9）年の函館大火の際は自身の貯蔵米を炊き出しに充てるなど、被災者救済や治安維持に貢献したという。

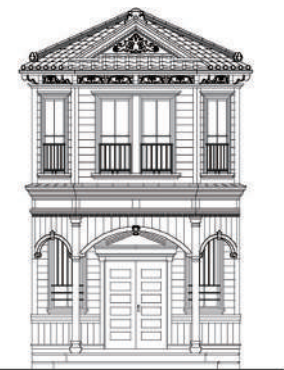
函館の政財界の要人が、この擬洋風の建物で2代目善吉と話し込んだのであろう。彼はこの洋館について「函館や北海道のための政談や商談をするに相応しい建物」と語っていたとい

う。実際、1階には函館西洋家具製造の元祖とも言われる洋家具職人神永貞助の家具が揃い、2階には黒檀の床柱を据えた床の間があり、上流の賓客を迎えるに足る内装であった。

実は2代



上／上質な雰囲気漂わせる太刀川家洋館の前に立つ太刀川雅子さん。



利用しながら維持する

たびたび大火に見舞われた函館では、レンガ造など防火の機

目善吉は、世界的企業ソニーの創設者の一人、井深大（いぶかまさる）の実父の従兄弟にあたる。父親を早く亡くした井深のために学費を支援し、ソニーグループの前身である東京通信工業の設立に際して出資もしている。太刀川一族の訃報を聞いた井深が自家用飛行機で来函したとの話もあり、井深もこの洋館に足を踏み入れた一人であったかもしれない。

能を持つ洋式の建築技術が取り入れられた。建築構造的に維持管理費用が負担となりがちである。そんな中で太刀川雅子さんは、太刀川家住宅店舗の一部でカフェレストランを2018年まで10年営み、また市内にある歴史的建造物のリノベーション（新たな機能や価値を付加する改装）を手伝い、「利用しながら資金を生み出して維持する」道に挑み続けてきた。

「函館の未来のために、この建物を使いこなしたい」と雅子さん。函館らしさの一つである上質な文化と環境を遺（のこ）し使いこなすことが、地域の未来

のためになると。

太刀川家では目下、洋館を上質な空間を提供するゲストハウスとして活用し、隣の住宅店舗もパーティーや展示会、会議、撮影などの場として運営している。深刻な人口減や高齢化に直面する函館市西部地区は、社会的にも空間的にもリノベーションが必要とされている。太刀川家の二つの建物がこのリノベーションをけん引することを期待したい。2代目善吉が函館のまちづくりに貢献したように。

DATA

建築年／1915（大正4）年
構造／木造2階建て 延べ面積／102.89㎡
様式／和洋折衷建築、入母屋瓦葺き屋根、下見板張り外壁

写真／FOLPHOTO 水本健人



※「はこだて街なかプロジェクト」のホームページに、この連載のサイドストーリーを掲載しています。

「グレタひとりぼっちの挑戦」

(2020年 / 原題「AM GRETA」)



監督・脚本 ネイサン・グロスマン
出演 グレタ・トゥーンベリ

気候変動により、美しかったサ
ンゴ礁が枯れ果ててしまう危機
に晒されたり、世界各国が記録的
熱波に見舞われたり、もはや気候
変動の危機は、目前に迫りつつあ
ります。気候変動をテーマとした
映画は数多くありますが、そのど
れもがエンタテインメントとし
て描かれているので、ほとんどが
パニック映画の域を出ていません

ん。本作はスウェーデンの若き
環境活動家グレタさんの素顔に
迫ったドキュメンタリー。彼女
の考えを最も正確に色濃く反映
し、これまで誰も知らなかったグ
レタさんの素顔を知ることが出
来る貴重な映像の記録です。20
20年のヴェネチア国際映画祭
やトロント国際映画祭などで高
く評価され、コロナ禍の世界20か
国以上で公開されました。因みに
グロスマン監督はもともと
トゥーンベリ一家と面識があっ
たことから、グレタさんが学校ス
トライキを始めた頃からカメラ
を回していたそうです。

映画の終盤、環境負荷の大きい
飛行機には乗らないと決めたグ
レタさんはニューヨークでの国
連会議に参加するためにヨット
で3週間の航海に挑みます。大し
けの大海で波に揉まれ、彼女が
ぶやく本音「こんな責任を負いた
くない。家で普通に生活したい
」は胸が締め付けられます。
爽やかな余韻の中に深く思い
を巡らせること必至の感動のド
キュメンタリーです。

PROFILE

滝川市出身。函館における数多くの文化事
業や施設イベントの企画運営に携わる。

音楽の話でも しようじゃないか。

最終回

吉村徳泰
YOSHIMURA 4 ベーシスト



遠い昔、営業の仕事に苦勞していた頃に
通っていた本町のジャズ喫茶『バップ』(現
在は新川町)での話。地下への階段を降り、
ドアを開けると店内全体が琥珀色で、まる
で異国の骨董市へ迷い込んだような独特な
雰囲気。JBLパラゴンのスピーカーから大
音量で流れるジャズの名演奏の数々に
どっぷり浸かる時間。そこは現実(過
酷な仕事)から逃避できる、まさにシェル
ターだった。ある日、いつものように店を
訪れると、目頭が熱くなるような、とてつも
なく美しい曲が店内に流れていた。ピアノ
ソロの途中に聴こえてくる「ウギギギ
ギィ!アウー」という呻き声。キース・ジャ
レットかな?と推測はしたもののアルバム
名がわからない。ご主人に訊ねると『マイ
ソング』だと教えてくれた。伝説のケルン
コンサートの後の1977年11月にオスロで
録音。北欧の名ミュージシャンであるヤン・
ガルバレク(sax)、パレ・ダニエルソン(b)、
ヨン・クリステンセン(ds)とのカルテット。
「叙情」と「前衛」とが混在した、世界的にも
人気の名盤であると後に知った。



My Song
キース・ジャレット(1977年)

PROFILE

函館市生まれ。会社員の傍らジャズベースを基
本として道内外のプロミュージシャンと共演す
る。過去に2度の欧州ツアーも経験。



第5回 / 中村ひでのり イラスト・文

「インド洋の真珠」は、 今、大変なことになっている。

インド洋にモルディブという
国がある。インド、スリランカの
南西に位置するこの国をはじめ
て訪れたのは1980年代後半
だった。現在は8社の航空会社が
就航し直行便もあるらしいが、当
時、日本からだとはエアランカ(そ
の後名称が変わりスリランカ航
空)とシンガポール航空のどち
らかを利用するしかなかった。
エアランカだと、コロンボでの乗
り換え時間も含めモルディブの
空港に到着するまでに12時間ほ
ど。そこからホテルのある島ま
で迎えるボートに乗って移動す
る。モルディブにはおよそ120
0の島があり、そのうち観光客が
滞在するリゾートの島は100
箇所ほどだ。それぞれ一つの島
が丸ごと一つのリゾートになっ
ていて、島によって30分で行ける
ところもあれば1時間以上かか

るところもあり、中には水上飛行
機を利用しないと行けない島も
ある。いずれにせよけっこうな長
旅だ。
●
僕が予約した島は空港から40
分ほどの小さなリゾートだった。
島のあちこちにバンガローが点
在していて、その一つひとつが客
室だ。基本的に島に滞在する以外
の客はやって来ないので、混み
合うことはなくゆったりと過ご
すことができる。僕が訪れた時
はヨーロッパからの観光客が多
かったように思う。その数年前に
行った東南アジアの某ビーチの
ようにキヤーカー騒ぐ人間は
おらず、年配の客がビーチでのん
びり日光浴をしたり、読書をし
たり。そんな落ち着いた雰囲気
がとても気に入って、その後何度
も訪れることになった。

●
モルディブの魅力はさまざま
なメディアで紹介しているの
で説明するまでもないが、その美
しさは圧倒的だ。色見本帳でしか知
らなかつた「マリリンブルー」の海
サラサラとした真つ白な砂。色と
りどりの小魚が泳ぐ様子が波打
ち際からでもわかるほどの海水
の透明度。写真集で見た風景が
そのまま目の前に広がってい
た。何事にも疑り深い僕は、「あの
写真は色の加工なんてしていな
かつたんだ」と、そこに本気で
驚いた。海に潜ればその感動は
より大きい。溢れかえる魚たち
の群れ、海亀にナポレオンフィッ
シュ、映画に登場しそうな大型の
サメにも遭遇した。トビウオにイ
ルカ、おまけに巨大なマンタまで
登場し、南海のオールスターが
勢ぞろいという状況だった。帰
国後、友人らに自慢すると「おま
えにスキューバは似合わない」か
ら始まり、果ては「モルディブの
海に謝れ」等々、散々な言わ
れようだったが、かなり羨まし
がっている様子でもあった。

●
モルディブの島の8割は海拔
1m以下、一番高いところでも
2m半ほど
だと言う。
数々の報道
でご存知の
通り、温暖
化による海
面上昇で、
今この国は
存続の危機
に晒されて
いる。21
00年には
地図上から
消えるかも知れないと言っ
研究
者もいる。それはすでに進行し
ていて、かなり前から砂浜の侵食
が進み、被害も出ているという。
もちろん、埋め立てによる人工島
の建設など、外国からの支援も受
け対策は勧められているらしい
が、それらはあくまでも対処療法
であって根本的な解決策ではな
い。温室効果ガスによる気温上昇
について「1.5度と2度の違い
はモルディブにとって死刑宣告
です」というこの国の環境大臣の
言葉は、遠く離れた国でのほぼ
と過ごし、都合のいい時だけ訪れ
て「ああ天国みたいだ」と喜
んでいるオヤジにも深く突き刺
さる。



PROFILE

北斗市生まれ。本誌の他、PEEPS函館の編集にも
携わる。リーヴズ代表。



赤とんぼ

西野鷹志／文・写真

牧草地在るなを杉とポプラの一本道が真つすぐにのびている。その先、一段と高くなつた丘のうえに男子修道院が立ち、静寂と神々しさがあたりを満つ。

修道院の十字架が日差しにきらりと光り鐘が鳴りわたつた。この道を歩きたびに天国へ向かうがごとき思いとなる。

三木露風は、10代後半、詩人で世にでるも悩みをかかえ、20代半ばに函館近郊のトラピスト修道院を訪れた。3週間の滞在中に詩集『良心』を書きとめている。

31歳のとき、初代・修道院長ジュラル・プウイエ（のちに帰化して岡田普理衛）の招きで、1920年（大正9）から4年間、講師として修道志願者などに国語や作文を教えた。このとき、「赤とんぼ」を詠み、童謡集に発表して2021年で100年となる。

夕焼け、小焼の、赤とんぼ、
負われて見たのは、いつの日か
山の畑の、桑の実を、
小かごに摘んだは、まぼろしか

十五で姐やは、嫁に行き、
お里のたよりも、絶えはてた
夕焼け、小焼の、赤とんぼ、
とまっているよ、竿の先

生まれ育つた兵庫・龍野。子守する姐やに背負われた幼子の露風が、夕焼けの空を見あげると、飛びまわる赤とんぼの群れのちに、修道院で文学を教える日々、竿の先にとまった赤とんぼをふと目にして、昔を思う。母と別れ、さらに好きな姐やも去り、千々に乱れた幼なころを「赤とんぼ」に詠んだ。修道院の前庭に三木露風の詩碑がある。

滞在中に妻なかとともに受洗しカトリック信者になっている。ちなみに、2021年、修道院は創立125周年をむかえた。



三木露風の詩碑

修道院小公園



修道院



露風 大正11年頃（32歳）撮影

PROFILE

西野鷹志（にしの・たかし） 東京生まれ、函館育ち。タウン誌・街で「ライカは行く」を17年間連載、2012年・147回で終えた。すきなもの—フランスパンの皮、ブルゴーニュワイン、ライカM6。

2022年もやります！SDGsスペシャル講演会

●毎年、SDGsの様々な取り組みを紹介しているシリーズ講演会で、全国で活躍するグローバルな講師陣をお招きしての講演会です。是非、皆さま、ご参加ください。

第1弾 SDGs ～誰ひとり取り残さない社会の実現のために「出会いこそ、生きる力」

【日時】2022年2月6日(日) 13:30-15:00

【場所】函館国際ホテル

【講師】サヘル・ローズ

1985年イラン生まれ。7歳までイランの孤児院で過ごし、8歳で養母とともに来日。高校生の時から芸能活動を始め、舞台『恭しき娼婦』では主演を務め、映画『西北西』や主演映画『冷たい床』はさまざまな国際映画祭で正式出品され、イタリア・ミラノ国際映画祭にて最優秀主演女優賞を受賞。



第2弾 SDGs ～身近なことから考える、世界と「私」のつながり

【日時】2022年2月11日(金・祝) 13:30-15:30

【場所】Gスクエア

【講師】野吾菜穂子

東京都出身。津田塾大学学芸学部卒業後、環境庁(現・環境省)入庁。その後、独立行政法人国際協力機構(JICA)入構。SDGs推進応援ソング「もっと輝く未来のために～Go for SDGs!」制作。国家資格キャリアコンサルタント取得。



【講師】土谷あすか

大阪府出身。奈良芸術短期大学修了後、イタリア・カッラー国立美術学院石像彫刻保存修復コース卒業。2011年よりイタリア・ナポリ国立美術学院文化財保存修復5年制コースへ編入。2016年イタリア国家認定文化財修復士の資格取得。現在、安田彫刻美術館アルテピアッツァ美咲にて研究員として彫刻作品の保存修復・維持管理に従事。



第3弾 SDGs ～気候危機をどうくい止めるか？ 一脱炭素・脱原発社会に向けて

【日時】2022年2月26日(土) 13:30-15:00

【場所】函館国際ホテル

【講師】平田仁子

熊本市出身。聖心女子大学文学部教育学科卒業、早稲田大学社会科学部研究科博士課程修了、博士(社会科学)。NPO法人気候ネットワーク国際ディレクター・理事。CAN Japan代表、千葉商科大学サイエンスアカデミー特別客員准教授を兼務。2021年ゴールドマン環境賞受賞



主催：一般財団法人 北海道国際交流センター (HIF)
申込：電話 0138-22-0770 メール：event@hif.or.jp

食材を必要な人へ届けるために「にこにこ子ども食堂」

●北海道国際交流センター(HIF)が運営する「にこにこ子ども食堂」は、2016年のスタートから現在まで様々な企業や団体、個人の皆様からの食材等の支援によって支えられています。2020年は意識の高まりとともに支援を申し出る企業も増え、また、コロナ禍の中、フードロスが増加した企業などからも多くの食材を提供していただき、北海道内の子ども食堂や困窮するひとり親世帯、外国人など、食材を必要としている方たちへ届ける活動を行いました。今後その動きを更に加速させるべく、北海道の“ロジ拠点”として企業からの食材を受け取り、北海道全域の子ども食堂などに行きわたるシステム“食支援プロジェクト”をスタートします。



【おくちからだプロジェクト～】

歯と口の健康をテーマにした体験プログラムを開催します！

にこにこ子ども食堂では、全国子ども食堂支援センター・むすびえを通じて、「ライオン株式会社」より、おさま向けの「歯と口の健康を通じて自己肯定感の向上を目指したオーラルケア体験キット」をご提供いただきました。それに伴い、特別企画として歯科衛生士による歯磨き習慣を楽しく学べるイベントを2月に開催予定です！



※詳細は、にこにこ子ども食堂のインスタグラムとホームページにてお知らせします

【プログラム内容】

- ①紙芝居 クイズ形式で歯のお話
- ②みんなで「はごろく」をやろう！(すごろく)
- ③みんなで「デコ歯ブラシ」を創ろう！(工作)
- ④まとめ(子どもたちへお土産キット配布)

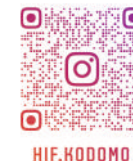
<お土産キット>

LIONおくちからだ通信、ハミガキ剤、デンタルフロス

【にこにこ子ども食堂】

TEL:0138-22-0770 Mail:kodomo@hif.or.jp

※インスタグラムもフォローしてください！



HIF.KODOMO

毎日の暮らしが、世界との交流の場。

(一財)共立国際交流奨学財団が管理・運営するつつじヶ丘男子学生会館、相模大野学生会館は、日本人学生・留学生のための学生寮です。日本人学生はもちろん、外国人留学生と生活をともにする中で、互いの理解を深め、友情を築き上げていくことで、国際人としての意識も高まり、学生生活がより豊かなものになることでしょ。

入居者募集中



両館ともに、24時間管理人常駐で食事つき、家具・インターネット完備で、初めての一人暮らしでも安心してご利用できます。

一般財団法人 共立国際交流奨学財団



〒101-0021
東京都千代田区外神田 2-17-3 アヤベビル4F
TEL. 03-5295-0205 平日 9:00~17:30
www.kif-org.com



アジア諸国からの前途有望な留学生に、いささかなりとも奨学援助の手を差し伸べることを決意し、国際友好親善ならびに明日のアジアを建設する原動力となるべく、人材の育成を目的とする。



季刊 [アット・エイチ] @h

WINTER 2021

- 発行人
池田 誠 (HIF)
- 編集人
中村ひでのり
- 編集スタッフ
吉村美悠
- デザイン
中村事務所
- 撮影
saeru
- イラストレーション
中村ひでのり (表紙・本文)
- サポーター会員 (敬称略)
福泉 省 / 鈴木詔次 / 前岡一郎
松本百合 / 川上 納 / 田中真一
山下淳一 / 栗林ゆか / 香内孝之
則竹知子
- 連載 & 編集協力 (敬称略)
中川大介
長谷山裕一
- 連載 (敬称略)
西野鷹志
庄 証
米田哲平
吉村徳泰
はこだて街なかプロジェクト

次号は
2022年3月31日発行です。

2021年冬号(年4回発行)
2021年12月31日発行
(一財)北海道国際交流センター(HIF)
[@h(アット・エイチ)]編集事務局
040-0054 函館市元町1-4-1
TEL. 0138-22-0770 FAX. 0138-22-0660
E-mail volut@hif.or.jp http://www.hif.or.jp/volut/

禁・無断転載

[@h] 設置場所

【全店配布】ラッキーピエロ/ハセガワストア/郵便局(一部)/生活協同組合コープさっぽろ/みちのく銀行/道南うみ街信用金庫/美容室アイズ

【本町・五稜郭付近エリア】函館市芸術ホール/函館市中央図書館/総合保健センター/北海道新聞社(道新文化センター)/函館YWCA/レストランバスク/ワークスコープ/茜/シネマエアリス/函館市青年センター/北海道教育大学函館校/Colz/Bees.Bee/函館短期大学付設調理製菓専門学校/クラブカットE' /喫茶Canvas/夏井珈琲ブリュッケ / ちいさなしあわせパン / G スクエア/Relotta cafe/ 函館圏フリースクールすまいる / 中島れんばいふれあいセンター

【函館駅前付近エリア】函館市役所/工房虹と夢/Pizzeria AMORINO/NHK/千歳図書館/サンリフレ函館/函館駅前バス案内・待合所/函館市総合福祉センター/百間/VILLAGE

【美原・本通・中道・栢便付近エリア】渡島総合振興局 / Cafe en / 水花月茶寮/ドゥ・アンジュ/花の湯/栢便配本所(栢便母と子の家)/LADIGUE / 珈琲物語 / チッコバスターティッコ/公立はこだて未来大学/文教堂栢便店/三省堂/タイヤ館/函館本通店/わつとな/ファイヤーピット/おしま地域療育センター/スプリングボードユニティ21/ROYAL SKOOL / ぽん屋 wakka/ 函館市亀田交流プラザ

【西部地区エリア】北海道国際交流センター(HIF)/Pain屋/ふるる函館/MOSSTREES/金森赤レンガ倉庫/FMいるか/バル・レストラン・ラ・コンチャ/甘味茶房花かんろ/Old Miss 菊/ギャラリー村岡/金子眼鏡店/カフェやまじょう/ロシア極東連邦総合大学函館校/Cafeteria Morie/函館市女性センター/はこだて工芸舎/函館市公民館/函館市地域交流まちづくりセンター/ROMANTICO ROMANTICA /Select Coffee Shop Peacepiece/ 和雑貨いるは / Cafe Classic / 箱館元町珈琲店 / Cafe & Deli MARUSEN/カフェDici /おひるごはんカフェ taom/SMALL TOWN HOSTEL Hakodate/tombolo/市立函館博物館郷土資料館

【五稜郭駅・昭和エリア】Beauty Concierge AOKI / 港図書館 / 北海道大学水産学部 / 函館市亀田青少年会館

【山の手・湯の川・旭岡付近エリア】旭岡図書室/銭亀沢支所/函館市民会館/湯川支所/湯川図書室/函館大学/函館短期大学/函館工業高等専門学校/花園温泉/カット&クリニックたかすぎ

【北斗市エリア】北斗市役所/かなで〜る/LEAVES/しんわの湯/北斗市スポーツセンター/北斗市公民館/久根別住民センター く〜みん/七重浜住民センター れいんぼー/Coing

【七飯・大沼エリア】こなひき小屋/ななえ天然温泉うひの館/七飯町文化センター/大中山モモン/レストランピノ/宮崎鯉屋 / 南北海道大沼婦人会館/カントリーキッチンWALD/大沼国際交流プラザ/ネイバル森 / fufou / Studio Lumier / 七飯町役場 / 大沼国際セミナーハウス / おおば製パン

いろんなこと、募集しています!



● [@h] はおおぜいの方々のボランティアによって支えられています。安定した運営のため、広告の掲載、または協賛して下さる方(サポーター会員)を募集しております。年会費は一口、団体 / ¥10000、個人 / ¥3000です。みなさんのご理解とご協力、よろしく願います。なお、広告の掲載料につきましては事務局までお問合せください。

● 編集部では読者のみなさまからのご意見・ご感想、さまざまな情報をお待ちしております。お気軽にお寄せください。ご協力よろしくお願いします。

【@h 編集事務局】
TEL. 0138-22-0770 FAX. 0138-22-0660
E-mail volut@hif.or.jp http://www.hif.or.jp/volut/